

研修 評価

研修名	医療現場で実践できるコミュニケーション 新人編				
領域	協働する力を高める 研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（Ⅰ・Ⅱ） 募集数（80 人）応募数（58 人）参加数（53 人）会員数（51 人）非会員数（2 人）				
日 時	令和 6 年 9 月 4 日（水曜日） 10：00～16：00				
ねらい（目標）	医療現場でのコミュニケーションの基本を理解し、良好な人間関係作りに活用できる				
講 師	池田 優子 高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科 非常勤講師				
内容・方法	<p>○講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基本 ・医療現場のコミュニケーションとその持ち方 ・アサーションの必要性 ・医療従事者とのコミュニケーションの実際 ・演習：アサーショントレーニング <p>○研修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義及び演習 				
結 果	<p>○参加者数 53 名 66% 【達成・未達成】</p> <p>○アンケート結果（回収率 98%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解度 100% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 100% 【達成・未達成】 <p>○受講者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示受けや確認する際、声のかけ方に困っていたため、研修で学んだことを活かしていきたい。 ・患者との会話の中での悩みやスタッフとのコミュニケーションで悩むことがあった。学んだことを無駄にせず活用していきたい。 ・忙しい中だと一方的なコミュニケーションをとっていた。相手に関心を持つことや、相手の気持ちをくみ取ることが大事にしたい。 ・質問の意図が分からない時があり困った。 				
評 価・総 括	<p>○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：妥当であった。 ・アンケート結果：「研修のねらいと研修内容の整合性」は 100%であった。 <p>○総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者やスタッフとのコミュニケーションで悩む時期であり、研修内容は良かったと思うが、参加率が低いため継続するかは検討が必要。 ・GW 時に、意見をまとめられるような用紙があると良かった。 				
課 題	・特になし				
担当者	教育委員				

評価基準：

- ①参加数が募集数の 70%以上
- ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上
- ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上
- ④アンケートの意見